

三浦半島国営公園の 設置をめざして



(大楠山の展望台より望む富士山)



平成 29 年 1 月

三浦半島国営公園設置促進期成同盟会

三浦半島国営公園設置に関する要望書

三浦半島は、まとまりある貴重な緑が残され、多摩丘陵等と一体となって、首都圏において最も重要な緑の基軸を形成しており、変化に富む干潟等の自然海岸など、美しい景観を有する地域です。二子山、大楠山、小網代の森をはじめとした緑は、生物多様性の保全や人と自然のふれあいの場の確保などに重要な役割を担っており、次世代に継承すべき国民の財産といえます。

国等による「首都圏の都市環境インフラのグランドデザイン」においても、三浦半島については、「国、県、市町等の連携及び役割分担の下で、国営公園構想等も踏まえた、半島の自然環境の保全と活用拠点設定について検討を行う。」とされています。また、新たな「首都圏広域地方計画」の「海洋文化都市圏の創出プロジェクト」においても、三浦半島については、「三浦半島に残された大規模緑地や海洋環境などの保全・活用により、首都圏の水と緑のネットワーク形成を推進する。」と位置づけられたことから、その自然の重要性について認識していただいているものと考えております。

神奈川県では、平成18年に「三浦半島公園圏構想」を策定し、三浦半島の自然の保全・再生・活用を図り、首都圏や海外からも多くの人々が訪れ、楽しみ、癒され、満足できるように、半島全体を魅力ある公園のような空間としていくことをめざしております。

このようななか、連携地区として位置づけている小網代の森につきましては、国の支援をいただきながら整備を進め、平成26年7月に県民の環境学習の場としてオープンすることができました。また、将来位置づけを協議する地区にしている池子の森につきましても、平成27年2月に米軍との共同使用という形でオープンすることができました。

「三浦半島における国営公園」は、本構想における水と緑のネットワークの中核となるもので、三浦半島の豊かな自然や文化、産業、人的資源などとの連携によって大きな相乗効果が期待できます。また、その立地環境を生かし三浦半島はもとより、首都圏全体の緑の保全・再生・活用に貢献する研究や情報発信、人材育成を先導的に行う「新たなタイプの国営公園」の実現が望まれています。

こうした首都圏における広域的な意義を踏まえ、水と緑のネットワーク形成を先導する国営公園を三浦半島に設置することを、ここに要望いたします。

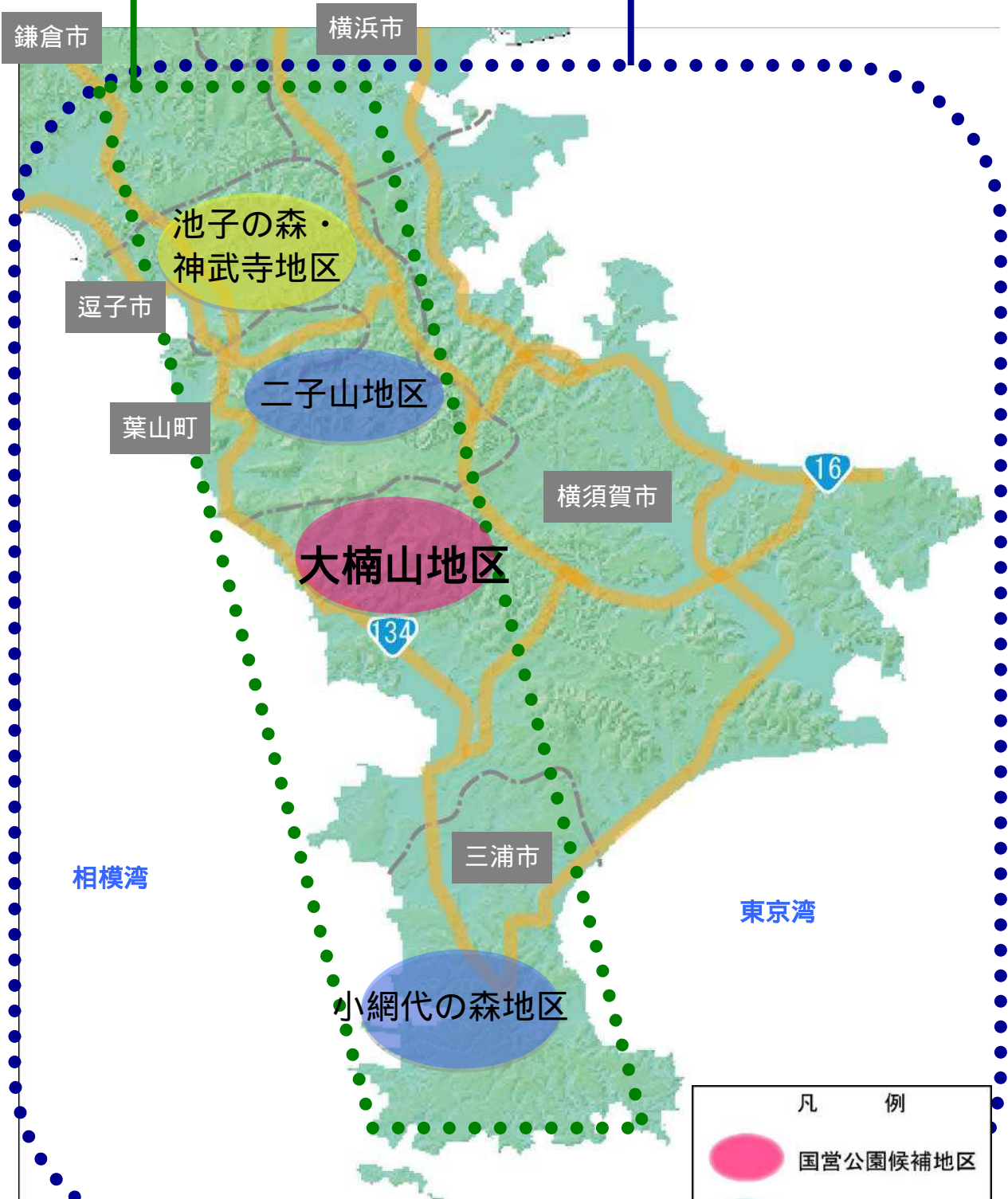
- 1 首都圏の緑の基軸を形成する三浦半島において、広域的なみどりの保全・再生・活用拠点となる国営公園の設置を早期に実現すること。
- 2 新たな首都圏広域地方計画においても、三浦半島における緑の保全・活用の重要性が位置づけられていることから、その促進を図ること。

三浦半島国営公園設置促進期成同盟会




会長 神奈川県知事 黒 岩 祐 治

三浦半島国営公園（広義）

三浦半島公園圏構想



小網代の森が平成 26 年 7 月、池子の森が平成 27 年 2 月にオープンしました。

凡 例	
	国営公園候補地区
	国営公園連携地区
	将来位置づけを協議する地区

平成 27 年度国営公園誘致活動の様子

横浜そごう入口広場にて、三浦半島の魅力展示会を開催しました。



三浦半島国営公園設置促進期成同盟会

神奈川県 横須賀市 逗子市 三浦市 葉山町 神奈川県市長会 神奈川県町村会

横須賀商工会議所 逗子市商工会 三浦商工会議所 葉山町商工会

事務局：神奈川県県土整備局都市部都市公園課

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1 電話：045-210-1111 (代表)